

校園長室から



学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和7年12月11日 第84号

古傷

先日、長年見たかった古寺を訪ねました。ちょうど紅葉の季節と相まって、素晴らしい景色。ついでに近くにある海も見たいなあということで、海岸へ。

久しぶりに聞く波の音、潮の香。年甲斐もなく興奮していました。貝殻を見つけます。うれしくなって摘み上げると、貝殻の内側が砂まみれ。

寄せては離れていく波で洗おうと海に近づいたとき、やってきた波が予想以上に強く足元をすくうようでした。慌てて後ろへ一歩下がった瞬間、「ブチッ」と鈍い音。続く強烈な痛み。肉離れでした。

まだまだこの後もウロウロする予定があったのですが、小休止。

腫れてきたふくらはぎをさすりながら、何本かやってきたチンチン電車を見送りました。

思えば学生時代、陸上部で400mハーダルという過酷な種目を専門にしていました。結局大した記録は残せませんでしたが、自慢は一日も練習を休まなかったことと、全メニューを消化したこと。

300mインターバルトレーニングというのがあって、300mを42秒前後で走り抜け、100mをジョグするというもの。これを10本。その日は調子よく、最後の10本目も快調に飛ばしていると、突然「ブチッ」。肉離れでした。あの時の傷が40年ほどの時間を超えてやってきました。

あの頃は、すぐに治った記憶があるのですが、今はなかなか治りません。

まだまだ痛い。くんくんと鼻をかぐと、シップの匂いがじんわり。

遠い昔を思い出せば祖父も祖母も近寄れば、このシップの匂いがしていました。年を取ることは、シップと親しくなることでしょうか。

ああ、痛い。